

小学校第6学年

国語 B

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから16ページまであります。
- 3 問題によっては、メモらんがついていますが、使用してもしなくてもかまいません。
- 4 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、解答用紙にすべて書きましょう。
- 5 解答用紙の名前のらんに、学校名・組・出席番号・性別・あなたの名前(漢字とフリガナ)を書きましょう。
- 6 解答時間は、40分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

問題は、次のページから始まります。

1

次の記録は、六年生の大林さんの学級で、「一年生と楽しく交流しよう」という議題について話し合った様子です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

司会

それでは、一年生と楽しく交流するための計画について話し合います。遊びの内容、準備の分担^{たん}、今後の日程の三つについて順番に話し合います。まずは、遊びの内容について話し合います。一年生と六年生がいっしょに遊ぶときに、どんな条件だったらよいか意見を出してください。

大林

ぼくは、一年生が喜ぶために、人気がある遊びを考えたらいいと思います。

山本

わたしは、一年生がやりやすいように、ルールの簡単な遊び^{かん}がいいと思います。

1 司会

そのほかに意見はありませんか。（発言がないのを確かめて）今出されている条件は、「一年生に人気があること」、「ルールが簡単であること」の二つです。この二つの条件に合った遊びにするということで、話し合いを進めてもいいですか。

全員

いいです。

2 司会

それでは、この二つの条件に合う遊びを考えて、提案してください。

池田

ぼくは、ルールが簡単で、とっても人気があるぶらんこで遊んだらいいと思います。

木村

わたしは、一年生がよくやっていて、ルールが簡単なおにごっこがいいと思います。一年生と親しくなるには、交代で順番にやるような遊びではなくて、一度にたくさんの人で遊べる遊びがいいからです。

小松

それだったら、ぼくは、長なわとびで遊んだらいいと思います。一年生も休み時間によくやっていて、特にむずかしいルールもなく、みんながいつせいに遊べるからです。

3司会

これまでに三つの遊びが提案されました。「ぶらんこ」、「おにごっこ」、「長なわとび」です。提案の中には、先に決めた二つの条件以外の新しい条件もふくまれていました。それは、アという条件です。この条件を加えて話し合いを進めてもいいですか。

全員

はい、いいです。

（話し合いが続く）

一 3司会の

ア

の発言の中に入るふさわしい言葉を書きましょう。

二 1司会から3司会までの発言を通して見られる進め方の良いところを書きましょう。

（メモ）※解答は、解答用紙に書きましょう。

川本さんの学級では、ごみを減らす取り組みの一つとして、身近な紙の問題を調べ、新聞にまとめて書くことにしました。そこで、紙についての資料を集めました。次の資料を読んで、あとの問いに答えましょう。

※段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

【資料1】

1 家庭や地域などから毎日のようにさまざまなごみが出されます。ごみの量をこれ以上増やさないようにするために、わたしたちに何ができるでしょうか。また、資源として大切に使うために、どのようなことができるでしょうか。身近な紙の問題を例にして考えてみましょう。

2 紙は、わたしたちのくらしの中でなくてはならないものであると同時に、産業や文化を支える大事な働きをしています。トイレットペーパーやティッシュペーパーなどは、生活用品として、また、新聞や雑誌、本などは、情報と知識を伝えるものとして、はば広く使われています。

3 一般に紙は、「紙」と「板紙（厚手の紙のこと）」に区分されます。新聞、雑誌、印刷用紙、コピー用紙、ノート、ティッシュペーパーなどは、「紙」に区分されます。段ボールや紙箱用のボール紙などは、「板紙」に区分されます。

4 日本の紙と板紙の生産量は、二〇〇二年（平成十四年）には、世界第

ア

位と

なっています。そのほとんどは国内で消費しています。

5 社会や経済の発展にともない、紙はより多くの分野で使われるようになり、新しく木から作り出す紙だけでは不足するようになってきました。そこで、一度使い終わった紙を古紙として、再生利用することが世界的に重要な課題となってきました。紙の原料である森林を守るためにも、古紙を利用して、むやみに木を切ることがないようにする必要があります。

6 古紙には、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パックなど、いくつかの種類があります。中でも、新聞紙、雑誌、段ボールの三種類が、古紙の大部分をしめています。

7 古紙の再生の方法としては、同じ種類の紙に生まれ変わることが多くなっています。段ボールの古紙は段ボールに、新聞紙の古紙は新聞紙になります。そのため、同じ種類の古紙はひもでくくり、まとめて回収に出すことが大事です。また、水にぬれていると再生しにくくなったり、金属が付いていると手間がかかってしまったりします。回収に出すときに少し気をつけることで、古紙の再生に役立つことになるのです。

8 このように、わたしたちの身近なところから古紙の再生利用を進めていくことは重要です。古紙を使って紙を生産し、古紙からできた紙をさらに再生利用することで紙のゴミを減らし、資源を有効に活用することができます。わたしたちの身近なところからゴミを減らすことを考えて、取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。

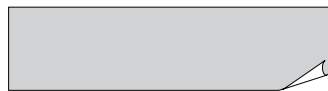
【資料2】

■紙・板紙の生産量の世界上位8か国

(地域別に整理したもの)

2002年(平成14年)

アジア



中国 3541万トン



日本 2900万トン

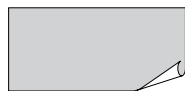


韓国 946万トン

北アメリカ



アメリカ合衆国 7534万トン

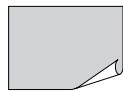


カナダ 1953万トン

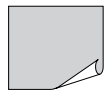
ヨーロッパ



ドイツ 1749万トン



フィンランド 1263万トン



スウェーデン 1043万トン

(1トンは1000kg)

(総務省統計局『世界の統計2006』による)

一 資料2をもとに、資料1の第4段落の

ア

 の中に入るふさわしい数字を書きましよう。

二 資料1の第5段落に、^①「一度使い終わった紙を古紙として、再生利用することが世界的に重要な課題となってきました」と書いてありますが、なぜ、重要な課題となってきたのですか。その理由を本文中から探して、二つ書きましよう。

(メモ) ※解答は、解答用紙に書きましよう。

三 川本さんは、資料を読んだあと、次の「地球わくわく新聞」の記事の下書きを書くことにしました。あとの問いに答えましょう。

地球

わくわく新聞



《第二号》

★今回の特集★

わたしたちの

くらじょうび

★発行日

平成十九年

五月九日

学校や家庭、さまざま

なところから出されるご

み。ごみの問題をこのま

まにしていたら大変です。

.....

古紙を再生しよう

.....

みんなで気をつけよう！

★古紙を回収に出すときに守ること★

○同じ種類の古紙はひもでくくり、
まとめて出すこと。

○

イ

ごみを減らすために！

ウ

- (1) 新聞記事の イ の中に、「古紙を回収に出すときに守ること」をさらにもう一つ書くことにしました。本文の内容に合わせて、一つ目と同じような書き方で書きましょう。

(メモ) ※解答は、解答用紙に書きましょう。

- (2) 資料1の第8段落に、「わたしたちの身近なところからごみを減らすことを考えて、取り組んでいくことが必要ではないでしょうか」と書いてあります。そこで、新聞記事の ウ の中に、自分でもできるごみを減らす取り組みを書くことにしました。あなたなら、どのような取り組みをしようと思いますか。次のことに注意して、**八十字以上百二十字以内**で書きましょう。

〈注意〉

- あなたが見たり、聞いたり、読んだり、体験したりしたことなどをもとにして、具体的に書くこと。

※メモは、次のページにあります。

問題は、次のページに続きます。

中川さんの学級では、夏休みに読んだ本の中で心に残ったものを感想文に書き、図書新聞にのせることにしました。先生が、感想文の書き方の勉強になるように二人の感想文をしようかと思いました。同じ本について書いた二人の感想文を読んで、あとの問いに答えましょう。

<青木さんが書いた感想文>

主人公あゆみの印象的な言葉。「いつもそばにいていっしょに行動することだけが友達じゃない。ときにはきよりを置き、友達を見守ることが大切だ。」わたしは、この本を読んで、はげまされ、勇気をもらいました。

あゆみは、親友とささいなことでけんかをします。少しずつ二人の心ははなれてしまい、落ちこんでいきます。そんなとき、全く気が合わないと決めつけていた別の友達が、「気にしすぎだよ。そのうち、仲良くなれるよ。」と声をかけてきました。話すことが少なかった友達が、声をかけてくれたことで、あゆみは元気づけられ、前向きな気持ちになれたのでした。

わたしは、この本と出会ってから、いろいろな人と広くかかわることができるようになりました。少しのけんかは気にせずに、できるだけ多くの友達をつくろうと思います。この本に出会うことができ、本当によかったです。

先生は、この二人の感想文はどちらも良い書き方だとみんなにしようかと思いました。二人に共通する良い書き方とは、どのようなことですか。二つ書きましよう。

※メモは、次のページにあります。

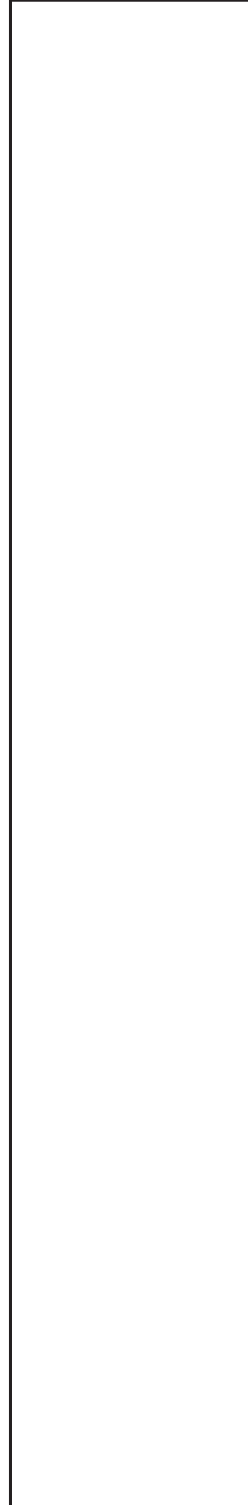

<高橋さんが書いた感想文>

わたしは、「相手のきげんをとったり、合わせたりするのは、本当の友達とはいえない。」という主人公あゆみの言葉をうまく受け入れられません。この本を読んで、人と人がつながることのむずかしさを改めて考えました。

あゆみは、親友とうまくいけなくなったとき、今までとはちがう見方をしました。少しずつはなれていく関係になやみながらも、新しく友達との関係をつくることができました。いつまでも考えこまず、気持ちを切りかえるようにしたのです。あゆみは自分にとって本当の友達とは何かということの答えを見つけたのです。

わたしも、あゆみと同じような体験をしたことがあるのですが、うまくいきませんでした。広く人とかかわり、新しく友達を見つけていくことは大事です。だからといって、すぐに気持ちを切りかえるのはかんたんではありません。これからも、人と人のつながりについて、考えていきたいと思います。

(メモ) ※解答は、解答用紙に書きましょう。



問題は、次のページに続きます。

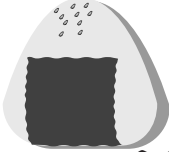



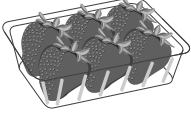
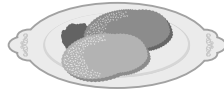
次は、今村さんの家に配られたお店のちらしです。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

スーパーマーケット★まちかど★

営業時間 午前8時～午後8時

お客様感謝セール

5月12日(土)・13日(日)の2日間！！

<p>おにぎり</p>  <p>110円が80円</p>	<p>サンドイッチ</p>  <p>半額</p>	<p>ショートケーキ</p>  <p>20%引き</p>
<p>クリームパン</p>  <p>150円が98円</p>	<p>いちご1パック</p>  <p>(お一人様1パック限り) 30%引き 294円</p>	<p>コロッケ</p>  <p>1個70円が 2個で100円</p>

(消費税込み)

セール期間中 (12日・13日とも)
食パンを100名様にプレゼント



みなさん、おいで



一 今村さんは、このお店のちらしの内容を友達に説明しようと思います。その説明として、ふさわしいものを次の1から4までの中から一つ選び、その番号を書きましよう。

1 このお店は、夜九時に行っても買い物をする事ができる。

2 サンドイッチは、ふだんの一つ分の金額で二つ買うことができる。

3 セール期間中、お客様全員が必ず食パンをもらうことができる。

4 お客様感謝セールは、毎週土曜日と日曜日に行われる。

二 ちらしの中にある「みなさん、おいで」という表現は、店長の立場でお客様に対して使う表現としてふさわしくありません。ふさわしい表現にするために、「みなさん」の書き出しに続けて、一文で書き直ましよう。

これで、国語Bの問題は終わりです。

平成19年度 全国学力・学習状況調査

平成19年4月 文部科学省